

波紋

Ripple

2015年
3月

創刊
1985年(昭和60年)7月
No. 357号



職場体験学習「わくわくチャレンジ」

①
 少し緊張していますが、三日間しかないので頑張って実りのある体験学習にしたいです。



2月3日～5日の3日間、名古屋市立名南中学校の女子生徒2名を受け入れました。初日は要工場にてデスクマット用のPE袋ヘラベルシール貼、デスクマットの袋入れなど、梱包作業を行ってもらう。2日・3日目は、本社工場2Fにて捺印マットの袋入れ作業を行ってもらいましたが、風邪を引いてマスクをしていたせいなのか？ 黙々と作業をしてくれました。この3日間を通じて、自分たちの親も朝から晩まで頑張っていることに感謝し、働くことの大変さを学んでくれればと思います。

岩間正美（製造部）

『基本に還る』

社長 森 直樹



段取り8分、仕事2分(事前の準備が全体の8割で、これができればその仕事はほぼ完了したようなもの)と言いますがその言葉の重みを体感しております。というのも年明け以降、NCカット(電子制御の「カット機」の現場に携わっており、ネクタイ姿よりも作業着姿の時間が長くなっております。一枚一枚、入力された図面に従ってカットできるこの設備は要工場に20年前より稼働しておりますが、本社には一昨年より新たに配備されています。今抱えている案件に対して部材の在庫は揃っているか、納期に対しての時間配分は適切か、また後工程の人員の状況はどうか、という時間、モノ、そしてヒトとどれかが欠けても仕事が成立しません。また現場では一つ一つの動きのムダが積み重なると大きなロスとなります。単純に言えば機械が止まる時間をどれだけ少なく出来るか。手作業の部分がある限りそこに改善できる余地は十分にあります。部材を置く位置、端材を廃棄する台車の位置、そしてそれらの取り回しが充分に可能なスペースを整理できているか。このように加工工程自体は非常に単純ですが、そこに考慮するべき要素は無限にあるとも言っても過言ではないでしょう。こうして振り返ってみると、段取りの良し悪しが、物が動く現場では明確に結果として返ってきます。もちろん段取りとは日常的に誰もがが行っていることではありませんが、どこまで深く考えることが出来るかで大きく結果が変わります。新たな気づきが発見できれば時間短縮にもつながります。そんな段取りの基本に還ることが出来ました。

今年もがんばれ日本

吉岡 孝記 (営業部)



最近、海外で活躍する日本人のプロ選手が増えているように感じます。野球、サッカー等々ありますが、特に昨年のテニス界では錦織圭選手の活躍で普段テニスなんか見ないような人までテレビを見て応援したり、子供のテニススクールが大流行とか聞くと凄い影響力だと感じます。私が昔テニスをよくテレビで見ていた頃は、もう何十年も前ですが、ボルグ、コナーズ、マッケンローが活躍していた時代です。まさか日本人の男子が世界の4大会で優勝を狙えるような選手が出るとは思いませんでした。外国選手と比べるとどうしても体力的に恵まれない日本人は不利で特にサーブの良し悪しが勝敗の行方を左右するテニスで身長2m近い選手のサーブは200kmを超えスピードでコナーに決まると、とても返せないが、その不利を得意なストロークで補い粘って粘ってあきらめずに走る姿が非常にカッコいいですね。今年も昨年以上に活躍してくれるでしょう。またゴルフでは松山秀樹が昨年アメリカツアーで初優勝し、今年も2位が2回と凄い活躍です。石川遼君はだいぶ苦しんでいるようですが近く活躍してくれるでしょう。野球でも大リーグでイチロー、田中、ダルビッシュとたくさんの選手が活躍しています。大リーグからの出戻り選手も今年には松坂、中島、黒田、3名。これからふえるのかなと感じます。黒田選手は別格ですが。これで日本のプロ野球が盛り上がればいいのですが。サッカーは、日本代表アジアカップの惨敗、監督の交代と色々今年もありそうですが、海外で活躍するには言葉の問題や生活環境の違いを考え方の違いを、いかに克服していくか体だけではなく精神的にも強くないと成功するのは難しいのかなあ。今年もテレビで応援します。

招き猫

安井 浩二 (企画営業部)



招き猫を贈答用として購入を考え、どこで買おうか？ネット通販ではないくらでも売ってますが、縁起物なのでどうせ買うなら生産地と・・・と思いちよつと調べてみました。発祥は江戸時代末期に誕生し、東京の今戸神社、豪徳寺、京都の伏見稲荷と諸説あるようですが生産地はなんと愛知県の常滑と瀬戸でした。どちらも歴史ある窯業の街ですが、中でも常滑は招き猫の生産が日本一でした。常滑焼といえは土管や茶器のイメージでしたが、そんな情報をもとに常滑を調べてみましたら「やきもの散歩道」という観光コースを知り、休日に行ってみました。登窯やレンガ煙突、黒い板壁の工業など明治から昭和時代に建てられた窯業施設が数多く残っており、ノスタルジックな情緒ある風景がよかったです。また、映画「20世紀少年」もロケ地として撮影されたことも紹介されておりました。この集落には今も多くの陶芸家がアトリエにて陶器などを販売しております。しかし、不思議なことに目的の招き猫の製造は見当たらず、販売もされていない状況。この観光コースの近くには「招き猫通り」もあったのですが、近くの陶磁器ショップでは、たくさん販売されているのに生産はどこで？ ネットを頼りに調べてみたら「富本人形園」と判明し、近くだったので寄ってみました。休日ということも残念ながら製造を見なかったのですが、あいにく工場は休み。調べてみましたら、ここの製造する招き猫は、一般的によく見かける二頭身の顔がでかく小判を抱えたタイプ。全国シェア80%を占めているそうです。我が家にも小さな貯金箱があります。まさにそれでした。小売もしており、せっかくなので製造元で購入することにしました。また、瀬戸には「招き猫ミュージアム」もあるそうです。機会があれば行ってみたいと思います。ちなみに右手を上げて招く猫は金運を招き、左手を上げて招く猫は人運を招き、また外国向けには青い目をしたドル小判をもち手首を逆に向けた(カモン)招き猫もあります。生産地を知り、ちよつとしたウンチクを語りながら贈り物にできそうです。



3月の予定

2日(月) 伊東義弥さん誕生日

7日(土) 第1土曜休み

12日(木) 成瀬勝英さん誕生日

21日(土) 春分の日

23日(月) 村上美和子さん誕生日

27日(金) CS会議 14時10分〜

生産会議 17時〜

森松株式会社のオリジナルキャラクター
守り隊の『マモーリン』誕生しました!



このたびLINEスタンプデビュー☆
全40種類100円で販売しています!
いますぐクリックしてね!



森松株式会社 社内報

No: 357 平成27年2月26日

編集者

大石耕平 小原龍一 伊東義弥
小坂美香 柳原 瞬



赤ワインに寿命延長成分

志水 満 (特販部)



「フレレンチバラドック」という言葉を聞かれたことはあるでしょうか？ フランス人は他のヨーロッパの人々よりもチーズやバターなどの乳脂肪や肉類フオアグラなどの動物性脂肪を好み摂取量も多いにもかかわらず動脈硬化の患者が少なく心臓病の死亡率も低いというものです。「フレレンチバラドック」の現象にワイン消費量が関係しているのではないかと提唱してからワインの研究が急速に進みました。動物性脂肪を多量に摂取してもワインを飲んでいれば心疾患のリスクが上がるということが実証されました。確かにワインには何らかの機能性があることは以前から知られていました。フランス人が日常に飲んでいる赤ワインに含まれるポリフェノールには動脈硬化や脳梗塞を防ぐ作用があると考えられたことです。皆さんは赤ワインと白ワインの造り方の違いをご存じでしょうか赤ワインはブドウの果皮や種と一緒に一次発酵させて造られます。一方白ワインは果皮や種を除いたジュースのみで発酵させるのでブドウの果皮や種にはポリフェノール含量が高いのがわかりました。「酒は百薬の長」と古来いわれていますが、過剰摂取は効果を打ち消すだけなく逆効果となりますのでバランスのとれた食事と一緒に楽しむことをお勧めします。毎年11月の第3木曜日をボジョレーヌーボー解禁日を楽しみます。ワインをたしなむフランス語で新しい酒です。

